

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成27年8月10日（月）～平成27年8月16日（日）〔第33週〕の感染症発生状況

第33週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。

手足口病の定点当たり患者報告数は8.64人と前週（9.28人）からほぼ横ばいですが、例年より高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.77人と前週（5.34人）からほぼ横ばいですが、例年よりやや高いレベルで推移しています。

ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は3.50人と前週（3.03人）からほぼ横ばいですが、例年より高いレベルで推移しています。



## 夏場も油断しないで！－RSウイルス感染症－

RSウイルス感染症は、「RSウイルス」を原因とする呼吸器疾患で、ほとんどの乳幼児が2歳までに感染します。

通常の流行は冬場が中心で、例年12月頃にピークをむかえます。ところが、今年は例年を超えるペースで報告数が増加しており、注意が必要です。

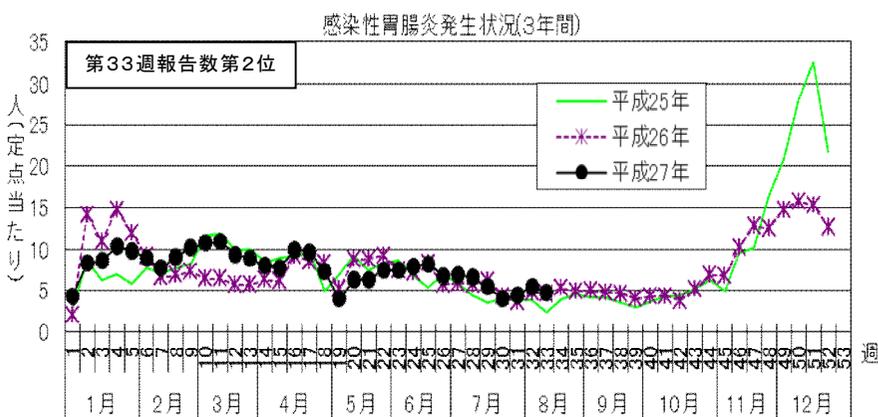
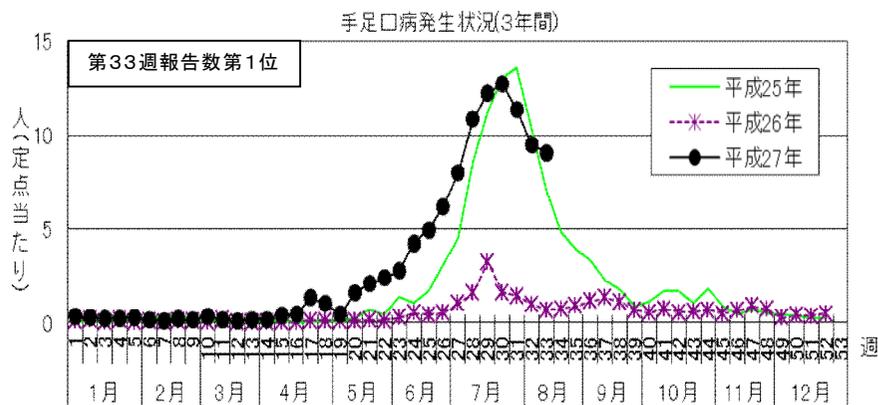
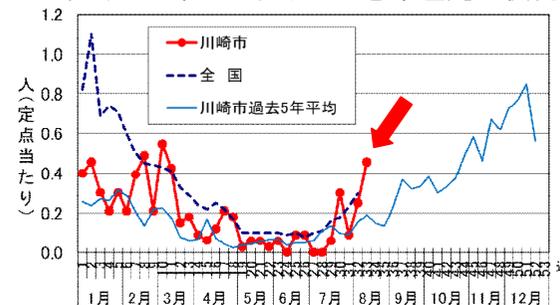
### RSウイルス感染症の特徴は？

**感染経路**：咳や鼻水等による飛沫・接触感染

**潜伏期間**：3～5日間（平均4日間）

**症状**：発熱、鼻水、咳などの風邪様症状が数日続く程度で多くは軽症です。ただし、患者の約3割は咳が悪化し、下気道炎を起こして喘鳴、呼吸困難などの症状が出るといわれています。

平成27年RSウイルス感染症発生状況



### ～こんなお子さんは特に注意！～

心疾患、肺疾患、免疫不全、ダウン症などは、重症化のリスクを高める原因となります。リスクの高い新生児・乳幼児には、感染を予防する方法もありますので、医療機関で御相談ください。



### <予防のポイント>

0～1歳児と接する大人は、咳などがある場合はマスクを着用するとともに、日頃から手洗いを徹底しましょう。また、日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールなどで消毒しましょう。